

森林経営管理法第36条第2項の規定による民間事業者の公表情報

(様式4)

公表年月日	商号又は名称	代表者氏名	主たる事務所の所在地	電話及びFAX番号	E-mail	ホームページ等URL	認定事業主
令和元年6月28日	速水林業	速水 亨	北牟婁郡紀北町引本浦345番地	0597-32-0001 0597-32-1012	hayami_forest@ztv.ne.jp	http://www.re-forest.com/hayami/	○

経営管理に関する情報

1. 基本情報

① 組織形態

会社	協同組合等	森林組合	個人事業主	その他
			○	()

② 設立年月日

年	月	日	設立

③ 事業の種類

造林	素材生産	製材	その他
○	○		()

④ 資本金(出資金)

千円

2. 雇用の状況

現場作業職員数 (うち常用)	事務系等職員数 (うち常用)	雇用管理者の 選任の有無	雇用に関する 文書交付の有無	現場作業職員の社会・労働保険等への加入状況					
				労災保険	労災保険料率	雇用保険	健康保険	厚生年金保険	退職金共済等
6 人 (6 人)	2 人 (2 人)	有	有	6 人	4.218 %	6 人	6 人	6 人	6 人

5年後の見込み

8 人 (8 人)		有	有	8 人		8 人	8 人	8 人	8 人
---------------	--	---	---	-----	--	-----	-----	-----	-----

3. 技術者・技能者の数

みえ森林・林業アカデミー修了者			フォレスト ワーカー	フォレスト リーダー	フォレスト マネージャー	森林施業 プランナー	森林作業道作設 オペレーター	技術士	技能士	林業技士	フォレスター (森林総合監理士)	林業架線作業主 任者免許取得者	その他 (間伐技術指導員)
ディレクター	マネージャー	プレーヤー											
0 人	0 人	0 人	7 人	1 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	1 人	0 人	7 人	1 人

5年後の見込み

0 人	0 人	0 人	9 人	1 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	1 人	0 人	8 人	1 人
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

その他技術的情報

--

4. 林業機械の保有状況

グラップル	プロセッサ	ハーベスタ	フォワーダ	スイング ヤーダ	タワー ヤーダ	フェラー パンチャ	スキッド	集材機	トラック (4 t)	その他 (林業用クレーン)	その他 (フォークリフト)	その他 ()
3 台	0 台	1 台	0 台	0 台	2 台	0 台	0 台	0 台	1 台	1 台	1 台	0 台

5年後の見込み

3 台	0 台	1 台	0 台	0 台	2 台	0 台	0 台	0 台	1 台	2 台	1 台	0 台
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

5. 事業量等（事業量、事業区域、生産量の増加又は生産性の向上等）

事業期間 【直近の事業年度 : 平成 30 年 1 月 1 日 ~ 平成 30 年 12 月 31 日】

【5年後の事業年度 : 令和 5 年 1 月 1 日 ~ 令和 5 年 12 月 31 日】

※ 直近3事業年度の実績及び5年後の事業年度の見込みを記載してください。

直近の前前年	事業区分	素材生産						造林・保育			左記以外の 林業の事業 量 (作業道開設m)	事業区域	素材生産の 請負がある 場合は、主 な請負業者 名を記載	造林の請負 がある場合 は、主な請 負業者名を 記載
		主 伐			間 伐			植付 (ha)	下刈り (ha)	その他 (除伐、枝打ちha)				
		面積 (ha)	材積 (m3)	生産性 (m3/人日)	面積 (ha)	材積 (m3)	生産性 (m3/人日)							
直営		0.15	50	2.86	48.36	2,610	2.80	1.18	18.00	17.00	418.00	三重県紀北町	諸戸林友(株)	諸戸林友(株)
請負		0.00	0		0.00	0		0.00	0.00	0.00	0.00			
合計		0.15	50		48.36	2,610		1.18	18.00	17.00	418.00			
直近の前年		0.00	0	0.00	64.85	3,632	2.70	0.00	16.00	25.00	207.00			
直営		0.00	0		0.00	0		0.00	0.00	0.00	0.00			
請負		0.00	0		0.00	0		0.00	0.00	0.00	0.00			
合計		0.00	0		64.85	3,632		0.00	16.00	25.00	207.00			
直近の年(基準)		0.50	178	3.37	56.82	3,219	1.73	0.85	12.70	16.19	150.00	三重県紀北町	海山林友(株)	海山林友(株)
直営		0.50	178		0.00	0		0.00	0.00	0.00	0.00			
請負		0.00	0		0.00	0		0.00	0.00	0.00	0.00			
合計		0.50	178		56.82	3,219		0.85	12.70	16.19	150.00			

材積計 3,397

5年後の見込み	事業区分	素材生産						造林・保育			左記以外の 林業の事業 量 ()	事業区域	素材生産の 請負がある 場合は、主 な請負業者 名を記載	造林の請負 がある場合 は、主な請 負業者名を 記載
		主 伐			間 伐			植付 (ha)	下刈り (ha)	その他 (除伐、枝打ちha)				
		面積 (ha)	材積 (m3)	生産性 (m3/人日)	面積 (ha)	材積 (m3)	生産性 (m3/人日)							
直営		2.00	500	4.00	80.00	4,000	3.00	2.00	20.00	20.00	0.00	三重県紀北町	海山林友(株)	海山林友(株)
請負		0.00	0		0.00	0		0.00	0.00	0.00	0.00			
合計		2.00	500		80.00	4,000		2.00	20.00	20.00	0.00			
目標とする項目			✓			✓								

材積計 4,500 32.5%

← ※目標として設定するものについて「目標とする項目」欄にチェックしてください。

以下の6～15の項目の口欄について、該当する箇所にチェックしてください。

※ その他の取組等がある場合には、() 内に記載するとともに、該当する箇所にチェックしてください。

※ 該当するもの(チェックしたもの)について、具体的内容を記述してください。(添付書類で確認できる場合は省略できます)

6. 生産管理又は流通合理化等

	取り組んでいる	1年以内 に取り組む 予定	取り組む 意向があ る		取り組んでいる	1年以内 に取り組む 予定	取り組む 意向があ る	
①適切な生産管理								
・作業日報の作成・分析による進捗管理や 工程の見直し	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	(年後)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	(年後)
・作業システムの改善	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	(年後)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	(年後)
・その他 ()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	(年後)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	(年後)
②原木の安定供給・流通合理化等								
・製材工場等需要者との直接的な取引 直接的な取引の相手先名 <small>森林組合おわせ、カネ兵製材所、塩崎商店、その他</small> }	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	(年後)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	(年後)
・とりまとめ機関を通じた共同販売・共同出荷 とりまとめ機関名 【	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	(年後)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	(年後)
・森林所有者や工務店等との連携	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	(年後)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	(年後)
・その他 ()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	(年後)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	(年後)

①②のうち、該当するもの(チェックしたもの)について、具体的内容を記述してください。

現場ごとに作成する「管理・監督記録簿」、日々記入する「施業進捗報告」により、作業に関する指示、進捗・工程の管理、作業員の健康状態、TBM-KY、ヒヤリハット報告、環境配慮、その他伝達事項など、管理、監督を実施している。

昭和40年代から林道・作業道の開設を進め、路網密度は49m/haに達する。

平成になってからは海外の機械を導入し、タワーヤーダーとホイール式グラブ車両を組み合わせ、路網を活用した独自の搬出システムを構築。

地元の森林組合や製材工場に原木を直売。内装用の板材等の住宅用構造材だけではなく販路の開拓を進めている。

大径木や高品質材を、神社仏閣等の材料を手掛ける県内の製材工場に直売。

県内外のカキ養殖業者などに、筏用の丸太を直売。

県内外の建築家や工務店と連携して、エンドユーザーの産地見学会などを開催。

7. 造林・保育の省力化・低コスト化

	取り組んでいる	1年以内に取り組み予定	取り組む意向がある	() 年後)
・伐採と造林の一貫作業システムの導入	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	() 年後)
・コンテナ苗等の使用	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	() 年後)
・低密度植栽	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	() 年後)
・下刈りの省略	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	() 年後)
・その他 (選木枝打の実施。作業前の下刈り省略。)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	() 年後)

上記のうち、該当するもの(チェックしたもの)について、具体的内容を記述してください。

皆伐時には極力全木集材をする、あるいは一カ所で枝払いをするなどして、地拵え作業のコストを抑える。

搬出時にタワーヤーダーで防護柵の資材やポット苗を荷上げし、搬出後速やかに、あるいは搬出中に再生林の準備を進める。

選抜した品種のヒノキ、スギの挿し木ポット苗を生産。

通常4,000本/ha程度だが、低密度植栽(2,000本/ha程度)や高密度植栽(8,000本/ha程度)も試行している。

初期成長の早い苗木を使用したり、巡視により必要性を十分に検討し、下刈りの回数を減らす。

すべての木を枝打ちするのではなく、成林時の立木本数1,000本/haを基準に選木枝打を実施。コスト削減や選木のバラツキを抑える。

作業前の全面下刈りを省略することで、コスト削減と林床植生を維持し土壌の流亡を防ぐ。

様々な作業の合理化で、400人/ha以上かかっていた30年生までの育林投入量を100人/ha以下に引き下げた。

8. 主伐後の再生林の確保

	有している	1年以内に整備する予定	整備する意向がある	() 年後)
・主伐及び主伐後の再生林を、直営施業又は他者への請負により実施する体制	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	() 年後)
・主伐及び主伐後の再生林を、連携する他の民間事業者と一体的に実施する体制 連携する相手等の名称 【 海山林友(株) 】	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	() 年後)
・自己所有森林における主伐後の適切な更新の実施	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	() 年後)
・他者所有森林での主伐にあつては、森林所有者等に対する事前の適切な更新の働きかけ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	() 年後)

上記のうち、該当するもの(チェックしたもの)について、具体的内容を記述してください。

所有山林については皆伐後の再生林を100%実施。

他者所有の山林においても、所有者に働きかけをし同意が得られれば、速水亨の森林経営計画に集約化することで、その後の再生林、保育作業を実施している。

それらの作業は、直営あるいは海山林友(株)と共同で実施している。

12. 環境への配慮

- ・環境に配慮した取組

取り組んでいる
 1年以内に取り組む予定
 取り組む意向がある
 (年後)

上記取組の具体的な内容を記述してください。

独自の環境方針を策定。
F S C 森林認証を取得。

13. 人材の育成

- ・計画的な技術者の育成等に対する取組

取り組んでいる
 1年以内に取り組む予定
 取り組む意向がある
 (年後)

上記取組の具体的な内容を記述してください。

FW、FL、間伐技術指導員、林業技士などを取得。

14. コンプライアンスの確保

- ・業務に関連して法令に違反し、代表役員等や一般役員等が逮捕され、
又は逮捕を経ないで公訴を提起されたときから1年間を経過していない者ではない はい いいえ
- ・業務に関連して法令に違反した場合は、再発防止に向けた取組を
確実に進行 はい いいえ
- ・国、都道府県又は市町村から入札参加資格の指名停止を受けていない はい いいえ

- ・森林の経営管理を適切に行うことができない者又は森林の経営管理に
関し不正もしくは不誠実な行為をする者ではない はい いいえ
- ・破産手続開始の決定を受けて復権を得ない者や暴力団員による不当な
行為の防止等に関する法律第32条第1項各号に掲げる者等ではない はい いいえ
- ・9の行動規範等に違反した行為をする者ではない はい いいえ

15. 常勤役員の設置 (※法人のみ)

- ・既に常勤役員を設置している場合

役 職	(フリガナ) 氏 名

- ・現に常勤役員を設置していない場合、設置に向けた取り組み

16. その他、地域への貢献、表彰実績等に関する情報

その他事業体情報

地域貢献

従業員の大半は地域（紀北町及び尾鷲市）雇用。

大田賀山林を広く一般に開放し、年間1000人近い来訪者を受け入れている。

従業員の大半が現役消防団員もしくはOBであり、地域の防災活動（特に山林火災や台風時）に積極的に参加している。

(株)森林再生システムと共同で、10年以上にわたり「林業塾」を開催。森林、林業、木材業等に関する様々な分野の講師を招き、学生、林業従事者、企業のCSR担当者など毎回20名程度の参加者に学びの場を提供。

表彰実績

第20回農林水産祭天皇杯（1981年、速水勉）、第2回朝日新聞「明日への環境賞」森林文化特別賞（2001年）、第7回日本環境経営大賞環境経営パール大賞（2009年）、第56回全国林業経営推奨行事農林水産大臣賞（2018年）、第57回農林水産祭天皇杯（2018年、速水亨、紫乃）。

安全対策

安全手順を整備し、関連資格や講習の受講、安全靴やチェーンソー用防護衣など安全装備をいち早く導入。安全性および作業効率アップのために機械の導入や改良に積極的に取り組んでいる。リスクアセスメントやTBM-KYなど日々の安全活動や、定期的で開催している全体会議、安全大会、年に一度の安全表彰などを通じ、事業主と従業員が一体となって安全衛生に取り組んでいる。

経営の健全性

2000年2月に日本で初めてFSC森林認証を取得。品質のみでなく、環境保全の点から見て適切な管理、地域社会の利益に貢献、経済的に持続可能な森林管理を続けている。

また2004年3月には「ひのき」が三重ブランド認定。

経理的な基礎に関する情報

・経営管理実施権の設定を受ける森林の経営管理に関する経理を、他と分離できる。

はい

いいえ